

## 令和6年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

鹿児島県

|         |                                      |
|---------|--------------------------------------|
| 行 事 名 称 | 文化財防火デーに伴う火災防ぎょ訓練                    |
| 実施期間・日時 | 令和7年1月26日 9:00から10:00                |
| 実 施 場 所 | 市来大迫家住宅(国登録有形文化財) いちき串木野市湊町3丁目12番    |
| 主 催 者   | いちき串木野市消防本部・消防署、いちき串木野市消防団、いちき串木野市役所 |

## ■実施内容

## 訓練の想定

当館1階から原因不明の火災が発生し、自衛消防隊が初期消火するも延焼が拡大。逃げ遅れはいない想定。

## 訓練の内容

火災報知器発報時の現場確認、報告、自衛消防隊による初期消火、119番通報。  
いちき串木野市消防本部・消防署といちき串木野市消防団による合同訓練。

## 参加者及び役割分担

大迫家住宅住民：自衛消防隊指揮、119番通報、自衛消防隊による初期消火  
いちき串木野市消防本部・消防署：現場指揮、放水訓練、講評  
いちき串木野市消防団：放水訓練  
社会教育課文化振興係：現場立ち会い

## 特に工夫した点

訓練では、敷地内への進入は不可とし、建物周囲を包囲する。現場指揮本部からの指示により、一斉に俯瞰注水を行う。

## 問題点・課題

訓練が実際に始めると、想定どおりに進まない場面があった。被害を最小限に抑えるためにも、通報・出動・消火活動が迅速に行うことができる状況を維持していくことが求められる。常日頃から文化財を点検し、守っていくことが重要である。

## その他

毎年、文化財防火デーにあわせて火災防ぎょ訓練を実施することは、防火・防災の観点と文化財愛護意識の高揚を図る良い機会となっており、今後も継続して実施することが重要である。

## 訓練風景



消火訓練の様子



大迫家住宅住民への指導